|  |  |
| --- | --- |
| 分野 | 総合分野（学校設定科目等） |
| 教材のタイトル | 未来のイノベーション　～現代の課題と未来のビジネスや技術～ |
| 教材からの学び | １　プレゼンが「課題の提示→ビジネスがどう解決させるのか→成長性、未来の姿」というように論理的に説明する力を養う。２　会計的側面から商品やサービスがどれくらいの経済効果を及ぼすかを理解する。３　現代の課題を解決させるために、数多くのビジネスが誕生していることを理解する。４　聴衆に理解しやすいプレゼンの作成方法を習得する。 |
| 時間数 | ２時間（講義とグループ学習１時間、研究発表１時間） |
| 授業の進め方 | １時間目（ワークシートを用いた講義、グループ学習）＜ワークシートを用いた講義＞・ワークシートを利用して、研究発表の目的と評価項目を明確に指示する。＜グループ学習＞・ワークシートの手順に従って、テーマを決定する。・グループで協働して、プレゼン資料と発表の準備を行う。　（発表の準備のために１～２時間程度、増やしてもよい）。２時間目（研究発表）＜研究発表＞・評価項目である以下の①～④に着目しながら発表を行う。①プレゼンは「課題の提示→ビジネスがどう解決させるのか→成長性、未来の姿」を論理的に述べているか。②あなたはこの未来の技術やビジネスを採用したいか。③プレゼンには将来の需要の伸びや経済効果（何億円や何兆円）などが述べてあるか。④プレゼンは工夫されているか。（プレゼン資料、発表方法など）＜振り返り・気づきの共有＞・最後に生徒に今回の気づきについて書かせる。そして、その気付きをグループで共有したり、Teamsのチャット機能などを用いたりして共有する。 |

研究発表　「未来のイノベーション」　～現代の課題と未来のビジネスや技術～

授業計画

■本単元の位置付け

ビジネス探究プログラム　基礎学習

■本単元の目標

１時間目（ワークシートを用いた講義、グループ学習）

　・未来のビジネスに興味・関心をもつ。

　・あらゆる諸課題を解決させるために技術革新を知るとともに、企業の未来へ向けた活動を知る。

　・プレゼンの評価の観点を知ることで、論理的に説明する方法とその必要性を知る。

　・経済効果などの会計的側面から未来のビジネスを見る視点を養う。

　２時間目（研究発表）

　・科学的な根拠を踏まえ論理的に研究発表を行う。

　・他のグループの発表から、あらゆる諸課題を解決させるための技術革新を知り、企業の未来へ向けた活動を知る。

　・発表に至るまでの過程において、協働的に準備を進めようとする態度を身に付ける。

■評価の規準

【Ａ】知識・技術

 ・プレゼンが「課題の提示→ビジネスがどう解決させるのか→成長性、未来の姿」というように論理的に説明されている。

 ・現代の課題を解決させるために、数多くのビジネスが誕生していることを理解する。

 ・会計的側面から商品やサービスがどれくらいの経済効果を及ぼすかを理解する。

【Ｂ】思考力・判断力・表現力

・現代の課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいてプレゼンを構成している。

・プレゼンテーションが明確で説得力があり、聴衆に理解しやすい発表となっている。

【Ｃ】主体的に学習に取り組む態度

・協働的にプレゼン資料を作成しようとする態度。

 ・振り返りにより、今回の学習を今後に生かしていこうとする態度。

■留意事項

 ・評価はプレゼンテーション評価シートを用いて行う。グループ内での貢献度を最も高く評価する。

・２時間で完結させる場合は、プレゼン作成のための準備期間を２週間ほど設ける。

未来のイノベーション　～現代の課題と未来のビジネスや技術～

　皆さんは、以前ＳＤＧｓやSociety5.0について学びました。どちらも「現代の課題を解決させる」ことが目的です。

現代やこれからの世の中は、数多くの問題があります。その問題を解決させる必要があります。しかし、全世界の人々がその解決に向けて心を一つにし、解決に向けて歩んでいけば必ず明るい未来が待っています。企業は未来を明るいものにするために様々なビジネスや技術を開発しています。今回は下記のテーマからグループで選択し、未来へ向けてのビジネスや技術について調べ、プレゼン資料を作成し発表しましょう。発表は（　　　）月（　　　）日頃を予定しています。グループで協力をして発表の準備を進めていってください。

テーマ一覧（テーマは時代の変化に合わせて変えてもらっても構いません）

|  |
| --- |
| メタバース　　Web３　　全個体電池　　次世代太陽光パネル　　空飛ぶクルマ　　ゲノム編集食品　情報銀行　スマートシティ　　宇宙移住・定住　　再生可能エネルギー　　食品ロス削減　　ブロックチェーン　　　精密農業　　女性ヘルスセンシング　　寿命予測　　スリープマネジメント　　ペインレス迅速診断　　パワーアシストスーツ　人工知能　　生成AI　　量子コンピューター　　DAO　　ディープラーニング　　バイオメトリクス　　環境モニタリング　エッジＡＩ　　バイオプリンティングナノロボット　次世代通信技術（６Ｇ）　スマートファブリック　　エネルギーハーベスティング |

評価の項目

①プレゼンは「課題の提示→ビジネスがどう解決させるのか→成長性、未来の姿」が論理的に述べているか（将来の需要の伸びや市場規模の予測（何億円や何兆円）などが述べてあるかについても評価する）。

②あなたはこの未来の技術やビジネスを採用したいか。

③プレゼンは工夫されているか。（プレゼン資料、発表方法など）

特別項目→あなたの班のＭＶＰ

未来のイノベーション　～現代の課題と未来のビジネスや技術～　ワークシート

手順１　グループを作ります。（４人が基本。数グループ３人または５人グループが出てくる）

|  |
| --- |
| メンバー（通番と氏名） |

手順２　現代や今後の課題、問題点を自由に挙げましょう。

|  |
| --- |
| 例：高齢化社会、地球温暖化　など |

手順３　テーマ一覧からテーマの候補を選びましょう。

|  |
| --- |
|  |

手順４　手順３で選んだテーマの候補のYouTube動画を見てください。いくつ視聴してもらっても構いません。見ながら簡単にメモを取りましょう（この部分は評価項目とはしない）

|  |
| --- |
|  |

手順５　テーマを決定しましょう。

|  |
| --- |
|  |

　　年　　　　組　　　　　番　　　氏名

手順６　以下の①～④の視点からプレゼン資料を作成しましょう。

　①現在の世の中においてどのような社会的課題や問題点があり、

　　　　②皆さんが選んだ技術やビジネスがその課題をどう解決させるのか。

　　　　③その技術やビジネスの成長性は？その技術やビジネスが普及した後の未来の姿は？？

　　　　④プレゼンには将来の需要の伸びや経済効果（何億円や何兆円）などをいれること。

　　　　皆さんはその技術やビジネスを扱っている社員のつもりで売り込みのプレゼンを行ってください。プレゼンの時間は３分間です。

|  |
| --- |
| ＜構成＞ |

【プレゼン発表会後】

☆今回のプレゼン発表についてあなた自身が学んだこと、新たな発見について

☆他の班の発表で気付いたこと、印象に残ったこと

☆今回の学習を今後にどのように生かしていきたいか

「未来のイノベーション　～現代の課題と未来のビジネスや技術～　」評価シート

あなたの班（　　　　）班

※評価項目

（１）プレゼンが「課題の提示→ビジネスがどう解決させるのか→成長性、未来の姿」というように論理的に説明されている（プレゼンには将来の需要の伸びや市場規模の予測（何億円や何兆円）などが述べてあるかについても評価する）。

（２）あなたはこの未来の技術やビジネスを採用したいか。

（３）プレゼンは工夫されているか。（プレゼン資料、発表方法など）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 班 | 未来の技術テーマ | 評価（数字に〇を付ける） | 合計点 |
| １班 |  | （１）論理的な説明（　１・　２　・３ ） | 点 |
| （２）採用したいか（　１・　２　・３ ） |
| （３）プレゼンの工夫（　１・　２　・３ ） |
| ２班 |  | （１）論理的な説明（　１・　２　・３ ） | 点 |
| （２）採用したいか（　１・　２　・３ ） |
| （３）プレゼンの工夫（　１・　２　・３ ） |
| ３班 |  | （１）論理的な説明（　１・　２　・３ ） | 点 |
| （２）採用したいか（　１・　２　・３ ） |
| （３）プレゼンの工夫（　１・　２　・３ ） |
| ４班 |  | （１）論理的な説明（　１・　２　・３ ） | 点 |
| （２）採用したいか（　１・　２　・３ ） |
| （３）プレゼンの工夫（　１・　２　・３ ） |
| ５班 |  | （１）論理的な説明（　１・　２　・３ ） | 点 |
| （２）採用したいか（　１・　２　・３ ） |
| （３）プレゼンの工夫（　１・　２　・３ ） |
| ６班 |  | （１）論理的な説明（　１・　２　・３ ） | 点 |
| （２）採用したいか（　１・　２　・３ ） |
| （３）プレゼンの工夫（　１・　２　・３ ） |
| ７班 |  | （１）論理的な説明（　１・　２　・３ ） | 点 |
| （２）採用したいか（　１・　２　・３ ） |
| （３）プレゼンの工夫（　１・　２　・３ ） |

**あなたの班のＭＶＰ（最大２名まで）**

**（　　　　　　　　　　　）さん　　（　　　　　　　　　　　　）さん**

　　　年　　　組　　　　番　　氏名